

令和5年度第1回

朝霞市地域福祉計画推進委員会・朝霞市地域福祉活動計画推進委員会

次 第

日 時：令和5年5月19日（金）

午前9時30分から

場 所：朝霞市総合福祉センター

第1・第2会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 題

（1）第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画の評価について

（2）その他

4 閉会

令和4年度

第4期朝霞市地域福祉計画  
進行管理・評価シート(案)

委員会会議資料(抜粋版)

朝霞市

令和4年度事業の重点的評価施策

				事業数	
基本理念	基本目標	施策の方向性	重点施策	市	社協
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	市民の暮らしを支える 仕組みづくり	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり	○	5	3
		(2)相談支援体制の充実	○	9	4
		(3)保健医療・社会福祉サービスの充実		8	3
		(4)権利擁護の推進		4	3
		(5)生活困窮者等への支援の充実		4	2
		(6)地域住民の交流の促進		6	3
	思いやりと支え合いの 心づくり	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進	○	6	6
		(8)支え合い・助け合いの気持ちの醸成		3	2
		(9)地域での見守りの充実		4	1
		(10)情報共有・発信の充実	○	5	2
		(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成		10	5
	安心で暮らしやすい 地域づくり	(12)施設等の整備・充実		2	2
		(13)防災対策の充実	○	3	4
		(14)防犯対策の充実		3	2
		(15)外出・移動の支援		4	2
		(16)住まいの確保等への支援		3	1
		(17)再犯防止の推進(再犯防止推進計画)		7	—
合計				86	45

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	福祉相談課	係名	地域福祉係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	①重層的支援体制整備事業の検討				
	事業概要	既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な新たな支援体制を構築するために、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業について検討していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築に向けて検討していくため、情報収集や調査・研究に努めた。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
重層的支援体制の構築	目標値	—	検討	検討	検討	検討
	実績値	—	情報収集・研修			
進捗状況及び自己評価	福祉部内で重層的支援体制に関する研究チームを作り、埼玉県が実施しているアドバイザー派遣事業制度を利用し、職員研修会を実施した。また、県内先進自治体を視察し、県内先進自治体の動向を把握するとともに、国・県が行う研修会等に参加することにより最新の情報収集に努めた。国・県からの通知等、研修会の参加により情報収集は行っている。今後も引き続き情報収集、調査・研究に努める。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、従来の属性別の支援体制では複合課題や狭間のニーズへの対応が困難となっている。 包括的な支援体制を構築するため、行政全体での認識の共有と取組が不可欠となる。
今後の取り組み方針	埼玉県が実施しているアドバイザー派遣事業制度を利用し、県内先進自治体の動向を把握するとともに、国・県が行う研修会等に参加することにより最新の情報収集に努め、本市の創意工夫をもって円滑に実施できる重層的支援体制整備事業を検討する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

支援体制を整備する中で、支援ニーズについて情報交換の機会があれば、協力してほしい。
-------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	福祉相談課	係名	福祉相談係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	②生活困窮者・世帯の自立支援				
	事業概要	生活困窮者の自立の促進を図るために、生活困窮者自立支援法に基づき、相談や就労支援、学習支援、住居確保給付金の支給などの各種支援を実施します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対して市町村の必須事業とされている自立相談支援事業及び住居確保給付金の支給、任意事業の学習支援事業を実施した。 (R4年度実績) 住居確保給付金 決定件数12件、支給件数49件、総支給額2,296,260円 学習支援事業 学習教室 年44回、利用者数30人 内訳(中学生17人、高校生12人、高校生世代※1人) ※中学校修了後、18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある方 家庭訪問 年150回(延べ) 利用者数3人 内訳(中学生1人、高校生1人、高校生世代1人) 自立支援金給付 決定件数63件、支給月数252か月、総支給額17,980,000円					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
生活困窮に関する相談件数	目標値	600件	600件	600件	600件	600件
	実績値	1,772件	1,870件			
進捗状況及び自己評価	長引くコロナ禍の影響や原油価格・物価高騰等により、生活困窮に関する相談が多く、目標値を上回る相談件数となった。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	長引くコロナ禍の影響を受け、生活が困窮されている方の相談件数が増加傾向になっているが、その相談の中では多重債務を抱え、返済が困難になっている方や、収入の多寡に関わらず、家計に問題があり、借金に頼らざるを得ない方、又は支払いが滞っている方がみられており、現在の支援の中で解決に結びつくことが困難な状況がある。
今後の取り組み方針	困窮された方が生活を立て直せるよう、自立相談支援機関だけでなく、ハローワークといった関係機関等と連携し、必要な支援につなげていく。また、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談では、「家計の見える化」により、家計収支の改善や家計管理能力向上等により自立した生活が定着するよう、家計改善支援事業の導入を検討していく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

生活に困窮している人を身近で見かけたときに、相談先を案内してもらう。
------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	長寿はつらつ課	係名	地域包括ケア推進係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	③地域包括ケアシステムの深化				
	事業概要	介護や支援の必要性に関わらず、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、各種事業を実施します。 地域包括支援センターでは、地域包括ケアシステムの推進拠点としての機能強化を進めながら、高齢者等の総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援等の包括的支援事業を実施します。 また、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、地域ケア会議運営事業、認知症総合支援事業を行うとともに、高齢者虐待防止事業や、成年後見制度利用支援事業等を進めていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域包括支援センター等にて、総合相談支援等を実施した。</li> <li>日常生活圏域の変更に伴い、センターを5か所から6か所に増設して、複雑化する相談等に対応した。</li> <li>圏域が変更となった要支援者に対して、切れ目なく支援が行えるように、計画的に引継ぎを行った。</li> <li>日常生活圏域の変更及びセンターの増設について、機会を捉えて関係各所に周知・説明した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地域包括支援センターの数	目標値	5か所	6か所	6か所	6か所	6か所
	実績値	5か所	6か所			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援等の引き継ぎを、当初の予定どおり半年程度で概ね終了できた。</li> <li>日常生活圏域変更や地域包括支援センターの新設について、広報あさかや市ホームページ、市民を対象とした介護保険制度説明会で周知したほか、自治会町内会や民生委員児童委員を対象に説明を行った。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	総合相談等だけでなく、地域ケア会議や生活支援体制整備事業等の他の包括的支援事業においても、円滑に事業間連携ができるような仕組みづくりが必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターが各専門職等と効率的な連携ができるような体制を整備する。</li> <li>地域共生社会を見据えた基幹型地域包括支援センターの設置に向けた検討を行う。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域包括ケアシステムの必要性を理解していただき、自助・互助の意識を高めていただきたい。
---------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	こども・健康部	課名	こども未来課	係名	こども相談係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	④児童虐待への対応				
	事業概要	要保護児童対策地域協議会の代表者会議及び実務者会議を定期開催し、体制づくりや情報共有など関係機関との連携強化を図るとともに、個別支援会議を適宜開催し、児童虐待対応に取り組みます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	要保護児童対策地域協議会の代表者会議及び実務者会議を開催し、関係機関との情報共有や方針の検討を行ったほか、個別支援会議を開催し連携して児童虐待対応に取り組んだ。 要保護児童対策地域協議会におけるケースの進行管理のための基準(朝霞市要保護児童対策地域協議会ケース進行管理実施要項)を改正し、虐待のリスクに応じた子どもの安全確認頻度に関する基準を定めた。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催回数	目標値	6回	6回	6回	6回	6回
	実績値	6回	6回			
進捗状況及び自己評価	要保護児童対策地域協議会の代表者会議及び実務者会議など計画していた会議を実施することで、児童虐待の早期発見・早期対応や体制づくりにつなげることができた。 朝霞市要保護児童対策地域協議会ケース進行管理実施要項を改正することで、要保護児童等の見守りに関し、定期的に安全確認をする体制を充実させた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	要保護児童対策地域協議会の関係機関が、児童虐待に対して連携した対応が行えるよう、各関係機関の当事者意識の醸成など、連携強化について検討する必要がある。
今後の取り組み方針	引き続き、要保護児童対策地域協議会の代表者会議をはじめとする各種会議や、広報・通知など様々な機会を捉えて、児童虐待対応について周知・啓発に努めるとともに、関係機関と連携しながら児童虐待対応を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

子どもの養育に不安を抱える家庭を把握した際、こども未来課に相談するように促し、つないでいただきたい。 子どもの養育に心配な様子がある、児童虐待が疑われるなどの状況があった場合には、児童相談所、警察、こども未来課に通告をしていただきたい。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	市長公室	課名	政策企画課	係名	政策企画係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	⑤市民参画と協働による地域づくりの促進				
	事業概要	講座や講演会等の開催を通し、地域での活動に関心を持つ人材を発掘するとともに、お互いのつながりづくりのきっかけとなる機会を提供することで、これから実際に地域に関与する活動に取り組む担い手を育成します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	(1)市民活動団体との交流を図るため、地域づくり支援課が和光市と共同で開催した市民活動団体交流会に参加し、団体との意見交換を行った。 (2)交流会でつながりをもった団体の活動等に参加 (3)まちづくり推進課が事務局となっている「北朝霞・朝霞台デザインラボ」が主催するまちづくりに関するワークショップに参加し、参加する市民と意見を交わした。 なお、令和4年度は、各団体との交流を行うことを目的として活動したため、講座の開催は行わなかった。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
市民参画に係る講座・講演会の開催回数	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	0回			
進捗状況及び自己評価	令和5年度から総合計画の策定に取り掛かることから、主催講座の実施ではなく、市民団体の方と直接対話し、つながりを作ることが大事ではないかと考え、交流に主眼をおいて活動した。 また、他課が実施するワークショップに参加することで、次年度、自課で開催するワークショップなどの際も、参考にできる点があった。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	昨年度実施したSDGs講演会においても、参加者数や世代が一定に留まっていることから、引き続き、市民参画の機運醸成を重点課題と捉えている。多くの市民の方に意見をいただくことや、若い世代や子育て世代にも広く関心を持っていただけるような仕組みづくりを検討する必要がある。
今後の取り組み方針	若い世代や子育て世代についても、市民参画と協働の機運が高まるよう、引き続き、市民講座を通じた啓発や職員の意識づくりに努める。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

市が実施する講座等に積極的に参加いただくとともに、参加を契機として、参加者同士がつながりを深め、地域での実際の活動に取り組んでいただきたい。
------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--



## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	福祉相談課	係名	福祉相談係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	①福祉の総合相談				
	事業概要	高齢者の困りごと相談をはじめ、生活困窮など複雑化・複合化した様々な相談に対応していくほか、アウトリーチを含む早期的な対応や本人・世帯を包括的に受け止めるなどの支援に努めます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	福祉に関する様々な相談を受け、関係部署や関係機関と連携しながら、必要な支援につなげた。必要に応じ、訪問による支援を行った。また、相談を受けた市職員が、適切に必要な支援へつなげられるよう福祉相談アドバイザー事業を実施し、活用した。 (令和4年度実績) 総合相談延べ件数2,200件 主な相談内容として、生活困窮に関する事、高齢者に関する事、家族・親族の悩み、トラブルに関する事の順が多かった。 福祉相談アドバイザー事業利用実績 年3回					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉の総合相談件数	目標値	1,400件	1,400件	1,400件	1,400件	1,400件
	実績値	1,994件	2,200件			
進捗状況及び自己評価	長引くコロナ禍の影響や原油価格・物価高騰等により、生活困窮に関する相談が多く、目標値を上回る相談件数となった。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	福祉ニーズの多様化・複雑化によって、制度の狭間に陥っているケースや、複合的に分野をまたがる困難ケースなど様々な相談を受けることから、支援員の資質向上や庁内関係部署及び庁外の福祉事務所やハローワークといった関係機関との連携が必要である。
今後の取り組み方針	支援員の資質向上のため、研修等に参加するとともに、様々な制度等の情報収集に努める。また、複合的に分野をまたがる困難ケース、ひきこもりケースなど、関係部署や関係機関を含めた支援会議等の実施に向けた準備を進めていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

ひきこもりなど、問題を抱えている方(本人及び家族)へ、近所からの声掛けや相談先の案内を行う。

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	障害福祉課	係名	障害福祉係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	②障害者相談支援				
	事業概要	指定特定相談支援事業所等が障害児者とその保護者に対し、必要なサービスや制度の案内を行うとともに、困り事などの相談に対応していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	指定特定相談支援事業所等との連携を密にとり、個々のケースの抱える課題に対する支援方法を検討している。指定特定相談支援事業所等連絡会において、スキルアップとケースの抱え込みを防ぐためにGSV(グループスーパービジョン)を実施している。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
計画相談支援月間実利用者数	目標値	360人	402人	450人	504人	565人
	実績値	371人	410			
進捗状況及び自己評価	計画相談件数が確実に伸びており、相談支援事業所との連携が不可欠となっているため、関係機関との調整等により適当な支援に結びついている。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	障害福祉サービスの利用者は年々増加傾向にあり、困難ケースも増えている。そのため、関係機関との連携がより必要とされる。
今後の取り組み方針	当事者やその家族、関係機関との関係づくりに取り組み、ケースの実情に応じた支援の検討をしていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

障害福祉サービス等の利用を検討している方に対して、積極的に相談するよう促し、つなげてもらいたい。

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	障害福祉課	係名	障害福祉係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	③精神保健福祉相談				
	事業概要	主に精神障害のある人やその家族の困りごとなどに対して、精神保健福祉士が相談に対応していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	精神保健福祉士による専門相談を月2回実施。広く市民に利用してもらえるよう、また、相談支援専門員等の支援機関や関係課からの相談も受けられるよう、周知に努めた。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
精神保健福祉士による専門相談件数	目標値	24件	24件	24件	24件	24件
	実績値	47件	50件			
進捗状況及び自己評価	精神保健福祉士による専門相談を月2回継続実施している。広く市民に利用してもらえるよう、広報・ホームページ掲載の他、関係者会議での周知等を図った。精神障害のある人やその家族からの相談だけでなく、相談支援専門員等の支援機関からの利用も積極的に実施した。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	市民や支援機関、関係課が必要な時に利用できるよう、周知や利用方法の検討が必要。
今後の取り組み方針	精神保健福祉士による専門相談(月2回)の継続。周知の拡大。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

市役所(障害福祉課)にて実施しているため、積極的に活用してもらいたい。
-------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	障害福祉課	係名	障害福祉係 障害給付係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	④障害者相談支援センター等による相談				
	事業概要	障害のある人に何か困り事や相談があった場合には、障害者相談支援センターのほか、各施設職員、身体障害者・知的障害者相談員、ケースワーカー等が対応していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	朝霞市社会福祉協議会が行うはあとぴあ障害者相談支援センターの充実を図るとともに、既存の事業所との連携により、一人一人の状況に応じた相談支援に努めた。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
はあとぴあ障害者相談支援センターにおける相談件数	目標値	2,400件	2,400件	2,400件	2,400件	2,400件
	実績値	2,099件	2,987件			
進捗状況及び自己評価	はあとぴあ障害者相談支援センターや市内相談支援事業所等と障害福祉課ケースワーカーが連携し、様々な障害のある人に対し、適切な相談支援を行った。					
	A	A 着実に進捗している    B ある程度進捗している    C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターの設置に向けた調査研究を行う。</li> <li>・特定相談支援事業所連絡会等を活用し、相談支援の質の向上を図る。</li> </ul>
今後の取り組み方針	先進自治体の事例研究等を行い、基幹相談支援センターの設置に向けて、具体的な取り組みを行っていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

障害のある人に何か困り事や相談があった場合には、障害者相談支援センターを案内してほしい。
----------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	長寿はつらつ課	係名	高齢者支援係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	⑤高齢者総合相談				
	事業概要	市と各地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員を中心に、高齢者や家族に対する相談体制の充実を図ります。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	市と各地域包括支援センターに配置している認知症の医療や介護の専門的知識や経験を有する認知症地域推進員が、認知症当事者や家族、関係者等に対して、介護保険や社会資源等の活用について説明するとともに、認知症の正しい知識や対応方法等について記載された認知症ケアガイドブックを用いて、普及・啓発を図ることができた。 また、認知症地域支援推進員が定期的に集まり、認知症施策等について話し合いを行う「認知症地域支援推進員連絡会」をおおよそ予定通りに開催することができた。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
認知症地域支援推進員連絡会開催回数	目標値	12回	12回	12回	12回	12回
	実績値	12回	11回			
進捗状況及び自己評価	認知症地域支援推進員が、市民等に対して、認知症に関する各種制度や社会資源等について普及・啓発を図ることができた。 認知症地域支援推進員連絡会をおおよそ予定通りに開催することができた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	市の認知症施策について、認知症地域支援推進員と調整を図りながら実施しているが、今後は、認知症当事者やその家族及び認知症当事者の支援団体等の意見を盛り込んだ施策を検討する必要がある。
今後の取り組み方針	認知症当事者の支援団体等にも認知症地域支援推進員連絡会に参加していただき、市の認知症施策の展開について検討する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

認知症サポーター養成講座に参加して、地域の見守りを行っていただき、認知機能に低下がみられるが、支援者がいらっしやらないようであれば市や地域包括支援センターに連絡していただきたい。

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	こども・健康部	課名	こども未来課	係名	こども相談係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	⑥子ども家庭総合支援拠点の整備				
	事業概要	子どもとその家庭、妊産婦等を対象に地域の実情の把握、相談対応、調査、継続的支援等を行う子ども家庭総合支援拠点の設置を検討し、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携した支援を行います。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	令和4年4月1日から子ども家庭総合支援拠点を開設した。 妊娠期からの切れ目ない支援を行うため、母子保健担当との情報共有や協働による方針検討などを行う場として、連絡会議を毎月開催した。 子育て世代包括支援センターに児童相談システムを配置したほか、こども未来課の端末で乳幼児健診受診状況と予防接種の接種状況が確認できるように、システム面での情報共有強化を図った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
連絡会議の開催回数	目標値	12回	12回	12回	12回	12回
	実績値	12回	12回			
進捗状況及び自己評価	子ども家庭総合支援拠点を開設し、連絡会議を開催することで、延べ202人のハイリスク妊婦、延べ128人の特定妊婦について情報共有し、生まれてからの切れ目のない支援について検討した。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	設置形態としては一体的な運営とはならず、関係機関との連携による設置のため、関係機関との一層の連携強化に向け運営体制について検討する必要がある。
今後の取り組み方針	引き続き、子育て家庭の妊娠期からの切れ目のない支援に向けて、関係機関と連携して必要な支援を行うとともに、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

子どもの養育に不安を抱える家庭を把握した際、こども未来課に相談するように促し、つないでいただきたい。

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	総務部	課名	人権庶務課	係名	男女平等推進係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	⑦女性総合相談・DV相談				
事業概要	それいゆぷらざ(女性センター)では、女性が抱える悩み事全般に関する女性総合相談と、配偶者やパートナーからの暴力に関するDV相談を行います。					

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	女性総合相談については、毎週木曜日に女性が抱える悩み全般についての相談を実施。DV相談については、毎週火・水・金・土曜日にDV専門相談員が相談を実施した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
女性総合相談・DV専門相談実施日数	目標値	女性総合相談(52日) DV専門相談(205日)	女性総合相談(51日) DV専門相談(205日)	女性総合相談(52日) DV専門相談(205日)	女性総合相談(51日) DV専門相談(205日)	女性総合相談(51日) DV専門相談(205日)
	実績値	女性総合相談(52日) DV専門相談(205日)	女性総合相談(51日) DV専門相談(205日)	—	—	—
進捗状況及び自己評価	女性総合相談及びDV相談を継続的に実施し、市民が安心していつでも相談できる体制で実施することができた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	相談の場を広く周知して、誰もが相談しやすい信頼のおける相談体制を充実させることが、必要である。
今後の取り組み方針	様々なケースの相談内容に対応できるよう、研修参加などを通じて、支援する側のさらなるスキル向上を図っていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

DV相談及び女性総合相談の利用、また相談窓口の周知
---------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	総務部	課名	人権庶務課	係名	人権庶務係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	⑧人権相談				
	事業概要	人権擁護委員と連携しながら人権相談を実施し、市民の基本的人権の擁護に努めるとともに、市民の人権尊重意識の向上を図ります。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	人権相談については、毎月第1月曜日に実施した。また、市内小学校での人権の花運動の実施など、人権擁護委員とともに各種啓発活動を行った。さらに市民の人権意識の向上の取組として、人権週間(12月4日～10日)に合わせて、人権について考えていただくよう市のホームページのリンクを貼ったメールをメール配信サービス登録者に送付した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
人権相談の実施日数	目標値	12日	12日	12日	12日	12日
	実績値	12日	12日			
進捗状況及び自己評価	人権相談については、対面での相談となるため、コロナ禍において相談に来庁される方以外にも電話などで問い合わせを受けることがあり、その際は、さいたま地方法務局での常設人権相談を案内するなど適切に対応するとともに相談内容を傾聴し、他部署へ繋ぐ等の対応を行った。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	人権に関わる相談については、内容が複雑、多様化しているケースが想定されるため、人権相談の相談員や担当職員については、そのような相談に対し、適切な対応ができるようスキルアップが課題と考える。また、人権相談を希望する市民に対して、人権相談の窓口を様々な媒体を活用し、周知啓発していく。
今後の取り組み方針	人権問題は複雑化多様化の傾向にあり、新たな人権課題が生じることを想定し、解決に向けて正しい人権教育・啓発活動を工夫するとともに支援体制の充実を図る必要がある。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

相談をしたい方や地域で困っている方にとって、まずは話を聞いてくれる方が地域にいてくれると悩みを抱え込むようなことがなくなる。 身近に相談できる方がいない方々のためにも市や社協に設置されている総合相談の周知・啓発や助言・案内に協力をいただきたい。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--



## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	市民環境部	課名	地域づくり支援課	係名	市民生活・相談係
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	⑨消費生活相談				
	事業概要	消費者被害の未然防止・被害回復のために、消費生活相談員による相談を行います。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	開庁日の10時～正午、午後1時～4時に面談及び電話で消費生活相談を実施。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
消費生活相談件数	目標値	900件	940件	980件	1020件	1070件
	実績値	829件	838件			
進捗状況及び自己評価	相談件数は目標値に至らなかったものの、例年同様の件数が見込まれた。相談件数が目標値に至らなかったのは、トラブルの件数が少なかったと見える反面、消費生活相談の認知度が低いという観点も認識する必要があると捉えている。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	消費者トラブルは年々多種・多様化している。また、高齢者の消費者被害も依然として高い状況が続いていることから、消費者トラブルに対応するため、消費生活相談員のスキルアップを図り、消費生活相談の充実を図る必要がある。
今後の取り組み方針	消費者トラブルにあった時の相談窓口として、引き続き啓発活動を行い、消費生活センターの認知度を高めていくよう努める。 また、消費生活相談員には、各種研修に参加できるように環境等の整備を行っていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

高齢者や自己判断が難しい市民に対し、隣近所の方が見守りを行い、消費者トラブルの発生や見込まれる場合に、消費生活センターにつなげてもらいたい。
------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	福祉相談課	係名	地域福祉係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	①地域福祉講演会の開催				
	事業概要	市民の福祉に対する理解と関心を深め、地域で共に支え合う意識を高める機会づくりを目的に、地域の生活課題等をテーマとする講演会を開催します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	地域福祉計画を推進していくため、ふれあいや交流の場を提供するとともに、自主的に活動しようとする市民の後押しとなるよう地域福祉の発展に向けた講演会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染症の影響により、開催中止となった。 【予定していた講演会】 内容:地域福祉講演会 講演会対象者:一般市民、自治会・町内会、民生委員など 開催時期:10月 予算:講師謝金、保育士謝金					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地域福祉講演会参加人数	目標値	100人	100人	100人	100人	100人
	実績値	0人	0人			
進捗状況及び自己評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域福祉講演会を開催できなかった。					
	C	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域福祉を推進していくためには、行政だけでなく地域住民をはじめ社会福祉協議会や福祉関係者等との連携が不可欠であるため、講演会でその必要性や重要性を発信していく必要がある。また、講演会を開催する際には、参加者が出席しやすい日時等に配慮していく。
今後の取り組み方針	自主的に活動しようとする市民の後押しとなるよう地域福祉の発展に向けた講演会を開催していく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域で共に支え合う意識を高める機会として、積極的に講演会に参加してほしい。
---------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	障害福祉課	係名	障害福祉係 障害給付係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	②スポーツ・レクリエーションの集いの開催				
	事業概要	毎年7月の第一週に、障害のある人もない人も、誰もが楽しめるフライングディスクやボッチャなどのさまざまなスポーツを体験できるスポーツ・レクリエーションの集いを開催します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	「スポーツ・レクリエーションの集い」は令和4年度から「障害者レクリエーション事業」として、障害者団体等のレクリエーション事業に対する補助金交付事業に移行した。 令和4年度は制度開始の年であり、広く周知を行い、対象の事業は1件となった。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
スポーツ・レクリエーションの集い(障害者レクリエーション事業)参加人数	目標値	130人	140人	150人	150人	150人
	実績値	0人	44人			
進捗状況及び自己評価	令和4年度は制度開始の年であり、広く周知を行い、対象の事業は1件となった。今後においても引き続き幅広く周知を行い、より多くの事業について補助を行っていく。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	令和4年度は制度開始の年であり、広く周知を行ったが、コロナ禍ということで団体や事業者のイベント等の活動が消極的であった。
今後の取り組み方針	今後においても引き続き幅広く周知を行い、より多くの事業について補助を行っていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

障害のある人もない人も共に楽しめる事業の開催及び情報提供。
-------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	障害福祉課	係名	障害福祉係 障害給付係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	③ふれあいスポーツ大会の開催				
	事業概要	障害のある人もない人も、一緒にスポーツを楽しみながら交流を図り、親睦を深めるふれあいスポーツ大会を開催します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	スポーツ大会は毎年9月下旬頃(令和4年度は9月25日(日))に、市立総合体育館メインアリーナに於いて開催した。令和4年度は半日開催とし、4種目を実施した。 ※令和2年度・令和3年度と新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、参加団体の意向等も踏まえ、参加者の安全を第一に考え、中止となった。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ふれあいスポーツ大会の参加者数	目標値	280人	280人	280人	280人	280人
	実績値	0人	93人			
進捗状況及び自己評価	障害者及びその家族と施設関係者との親睦を深めることに有効な事業と判断します。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、参加者の安全を確保し、障害のある人もない人も楽しめる大会の開催方法について検討していく必要がある。
今後の取り組み方針	参加団体と調整し、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、より安全に大会を行うための検討を行っていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

ふれあいスポーツ大会への参加や運営ボランティアをお願いしたい。
---------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	市長公室	課名	政策企画課	係名	政策企画係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	④市民参画と協働による地域づくりの促進(再掲)				
	事業概要	講座や講演会等の開催を通し、地域での活動に関心を持つ人材を発掘するとともに、お互いのつながりづくりのきっかけとなる機会を提供することで、これから実際に地域に関与する活動に取り組む担い手を育成します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	(1)市民活動団体との交流を図るため、地域づくり支援課が和光市と共同で開催した市民活動団体交流会に参加し、団体との意見交換を行った。 (2)交流会でつながりをもった団体の活動等に参加 (3)まちづくり推進課が事務局となっている「北朝霞・朝霞台デザインラボ」が主催するまちづくりに関するワークショップに参加し、参加する市民と意見を交わした。 なお、令和4年度は、各団体との交流を行うことを目的として活動したため、講座の開催は行わなかった。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
市民参画に係る講座・講演会の開催回数	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	0回			
進捗状況及び自己評価	令和5年度から総合計画の策定に取り掛かることから、主催講座の実施ではなく、市民団体の方と直接対話をし、つながりを作ることが大事ではないかと考え、交流に主眼をおいて活動した。 また、他課が実施するワークショップに参加することで、次年度、自課で開催するワークショップなどの際も、参考にできる点があった。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	昨年度実施したSDGs講演会においても、参加者数や世代が一定に留まっていることから、引き続き、市民参画の機運醸成を重点課題と捉えている。多くの市民の方に意見をいただくことや、若い世代や子育て世代にも広く関心を持っていただけるような仕組みづくりを検討する必要がある。 また、活動団体との交流を継続することで、行政と市民の協働のあり方を
今後の取り組み方針	若い世代や子育て世代についても、市民参画と協働の機運が高まるよう、引き続き、市民講座を通じた啓発や職員の意識づくりに努める。 今後も、活動の場に出向いて、積極的に意見を伺う機会を捉えていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

市が実施する講座等に積極的に参加いただくとともに、参加を契機として、参加者同士がつながりを深め、地域での実際の活動に取り組んでいただきたい。
------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	市民環境部	課名	地域づくり支援課	係名	市民活動支援係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	⑤市民活動の周知・啓発及び参加の促進				
	事業概要	市民活動やボランティアに関する情報を収集し提供するとともに、多くの人に市民活動に参加していただく機会の提供、市民活動の周知・啓発等を行います。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	メールマガジンや広報・ホームページなどで市民活動に関する情報発信を行ったほか、市民活動パネル展を開催し、市民活動の周知・啓発に努めた。また、パネル展開催時にあわせて「出張市民活動相談会」を実施し、ステーション以外でも市民活動に関する相談が出来る様にした。市民活動の新たな担い手を育成することを目的とした「地域デビュー支援セミナー」を開催した。登録者が、市内で開催されるイベントにボランティアとして参加する「朝霞市イベントボランティア登録制度」の運用を開始した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
市民活動支援ステーションの延べ利用団体数	目標値	510団体	520団体	530団体	540団体	550団体
	実績値	451団体	408団体			
進捗状況及び自己評価	指標の施設利用団体数については、新型コロナウイルス感染症による団体活動への影響も大きく、目標には届かなかったが、個人利用に関しては前年度を上回ることが出来た。また、出張市民活動相談会を実施したことにより、ステーション以外でも市民活動の周知・啓発を図ることが出来た。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	活動の担い手の高齢化や会員の不足のほか、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の停滞など
今後の取り組み方針	多くの方に市民活動に関心・興味をもち参加していただけるよう、引き続き工夫を図りながら、市民活動の周知・啓発等を行っていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<p>パネル展、セミナーやイベントボランティア登録制度など市民活動への参加や担い手の育成に関する事業等を、今後も開催・運営していくので、関心のある方の積極的な参加が望まれる。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課	係名	スポーツ係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	⑥スポーツの振興				
	事業概要	市民の親睦と健康増進を図り、あわせてスポーツ及びレクリエーションの振興に寄与するとともに、市民生活を明るく豊かにすることを目的として、スポーツイベント等を開催します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	市民の親睦と健康増進を図り、あわせてスポーツ及びレクリエーションの振興に寄与するとともに、市民生活を明るく豊かにすることを目的として、市民体育祭を開催した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
町内会・自治会参加数	目標値	20団体	20団体	20団体	20団体	20団体
	実績値	—	5団体			
進捗状況及び自己評価	開催時間の短縮等の感染症対策や、参加要件の緩和、テントや椅子の設置の業者委託など、自治会・町内会の皆さんが参加しやすくなる取組、競技参加者に対し参加賞のほか抽選券を配布し、抽選会を行うなどの新たな取組を加え、市民体育祭を開催した。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	近年、自治会・町内会の市民体育祭への参加地区数が減少傾向にあるなか、今年度は一般参加者が多くなるなど、新たな動きも見られたことから、スポーツイベントに対する潜在的な需要を喚起するため、朝霞市体育協会や朝霞市スポーツ推進委員連絡協議会などと連携し、事業を展開していく必要がある。
今後の取り組み方針	朝霞市体育協会や朝霞市スポーツ推進委員連絡協議会などと連携し、多くの方に参加していただけるようなスポーツイベント等の企画・運営を行っていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

多くの市民・地域に市民体育祭等へ参加していただき、互いの親睦と健康増進を図る。

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	長寿はつらつ課	係名	地域包括ケア推進係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	①多職種参加の地域ケア会議の実施				
	事業概要	地域包括ケアシステムの推進に向け、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所が携わっている個別ケースについて、アセスメントの効果的な方法や自立支援・重度化防止に資するケアプランの作成のために、多職種と検討を重ね、支援能力の向上につなげていきます。また、個別事例の積み上げから見えてくる地域の共通課題を共有し、課題解決に向け、関係者間で調整、ネットワークの構築、新たな資源の開発、さらには施策をボトムアップで推進していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市及び地域包括支援センターにおいて会議を定期的に実施し、個別ケースについて検討を行い、自立支援・重度化防止に資する支援能力の向上等につなげた。</li> <li>・持続可能な地域ケア会議の運営を目指し、目的の見直しや実施内容等の明文化を行った。見直し及び明文化にあたっては、事例提出者・助言者との意見交換会等を開催し、共通認識等を醸成しながら、参加者全員で地域ケア会議を作り上げていけるよう協議した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地域ケア会議(全体・圏域)の実施回数	目標値	44回	46回	48回	48回	44回
	実績値	43回	34回			
進捗状況及び自己評価	<p>会議の定期開催に加え、会議の開催目的や目的達成に向けた実施内容の明文化を図るにあたり、地域包括支援センターとの定期的な会議開催や事例提出・助言者双方を対象とする意見交換会を開催することで、参加者の意見を集約し、地域ケア会議運営マニュアルの策定に至った。</p> <p>また、意見交換会等を通じて、共通認識の醸成につなげ、参加者全員で地域ケア会議を作り上げていけるよう、情報発信を行った。</p>					
	B	A 着実に進捗している    B ある程度進捗している    C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議における運営目的を達成できるかなど策定したマニュアルの精査</li> <li>・参加者へ向けた共通認識の醸成等に関する取り組みの継続</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の定期開催</li> <li>・地域包括支援センターとの定期的な会議の開催及びマニュアルの見直し</li> <li>・必要に応じた意見交換等の開催</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じた会議等への参画</li> </ul>
------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--



## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部	課名	長寿はつらつ課	係名	介護保険係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	②介護保険制度の周知				
	事業概要	介護サービスや介護保険等について、パンフレットやホームページ、市民説明会、あさか学習おとどけ講座等、様々な機会を通じて、よりわかりやすい情報提供を行います。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	高齢者福祉と介護保険制度の市民説明会を6回開催し、39名に参加いただきました。また、あさか学習おとどけ講座を1回開催しました。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
介護保険制度説明会参加者数	目標値	200人	100人	100人	200人	100人
	実績値	219人	39人			
進捗状況及び自己評価	新型コロナウイルス感染症の影響により定員を限ったこともあり、高齢者福祉と介護保険制度の市民説明会の参加者数は目標に届きませんでしたが、今年度からプロジェクトを使用し、よりわかりやすい説明となるよう努めました。他の方法による介護保険制度の周知も継続しており、事業全体としてはある程度進捗しています。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	高齢者福祉と介護保険制度の市民説明会は令和4年8月に開催しましたが、計画期間の2年目であることと、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響から、参加者数は昨年度より減少したと分析しています。効果的な開催方法については課題と捉え、よりよい手法を模索して参ります。
今後の取り組み方針	市民説明会については、今後も効果的な開催方法を検討して参ります。他の方法による介護保険制度の周知は、今後も継続して参ります。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

市民説明会開催の際には、ぜひご参加ください。
------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	こども・健康部	課名	こども未来課	係名	こども未来係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	③子育て情報誌の作成				
	事業概要	子育てに関する情報を一元化した子育て情報誌「あさか子育てガイドブック」を作成し、子育て関連施設を通じて子どものいる家庭に配布するとともに、ホームページに掲載し、子育て等に関する情報を提供します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	子育てに関する情報誌「あさか子育てガイドブック」を作成し、児童館や保健センター、子育て支援センターなどの交流拠点を紹介する。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
子育て情報誌の作成部数	目標値	7,500部	7,500部	7,500部	7,500部	7,500部
	実績値	7,500部	7,500部			
進捗状況及び自己評価	子育て情報誌の作成・配布の他、市ホームページに同内容を掲載し、子育て応援サイト(サブサイト)と共に、更なる情報発信を図ることができた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	適時適切な情報掲載を心がける。
今後の取り組み方針	市の子育て情報の他、NPOや市民団体等が行う情報等も掲載できるよう調査・研究する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

市の子育て情報の他、NPOや市民団体等が行う情報等を集約していただける団体の発掘・育成。
----------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	市長公室	課名	シティ・プロモーション課	係名	広報係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	④広報の充実				
	事業概要	行政情報施策及び行事等の情報を収集し、読みやすく編集した広報あさか(毎月1回)を作成・発行し、配布については市内全世帯へ配布します。また、市民ハンドブックなど市政情報紙を発行するとともに、ホームページやツイッター等のSNS、掲示板、電光掲示板などで随時最新の情報を発信していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	広報あさかを毎月発行し、市内全戸へ配布した。 市民ハンドブックの更新、掲示板の維持管理、朝霞駅前電光掲示板の運用、ホームページの管理運営、防災行政無線の運用、ツイッター・フェイスブック等のSNSを利用した情報発信、メール配信サービスの運用、テレビ埼玉データ放送の更新など、市の持つあらゆる情報伝達手段を活用し、市民への情報発信を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
広報あさか配布部数	目標値	67,800部	68,300部	68,800部	69,300部	69,800部
	実績値	67,500部	68,000部			
進捗状況及び自己評価	情報発信に関しては、様々な媒体で発信を行うなど、市民が市の情報を入手できるよう努めた。また、災害時は、yahoo!防災アプリやInstagramでも情報発信を行った。広報あさかの市内全戸への配布は実施しているものの、世帯数の伸びが想定を下回ったため、目標値に届かなかった。					
	B	A 着実に進捗している    B ある程度進捗している    C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	行政情報を、より効果的に発信する方法がないか調査検討する。 広報紙から情報を得る市民に、有益な市政情報の伝達漏れなどが起こらないよう編集する。
今後の取り組み方針	必要とする情報を、誰もが入手することができるよう努める。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

市民…災害時等の状況に応じて、市が発信しているホームページやSNSなど様々な媒体を活用し、正確な情報を収集するよう心掛ける。 市内活動団体等…掲示板や広報あさかを積極的に活用して市民へ周知啓発するとともに、わかりやすい表現を使うよう努める。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部 危機管理室	課名	障害福祉課 長寿はつらつ課 危機管理室	係名	障害福祉係 高齢者支援係 危機管理係
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	⑤避難行動要支援者支援制度の推進				
	事業概要	災害時における避難行動要支援者への支援を円滑に実施するため、関係課が連携し、避難行動要支援者台帳を作成します。また、自治会・町内会、民生委員児童委員、消防団、地域包括支援センター等の避難支援者となる各団体に配付を行い、災害時における支援のほか、日頃からの顔の見える関係づくりに活用します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における避難行動要支援者の支援を円滑に実施するため、福祉部門と連携し、避難行動要支援者台帳を作成し、自治会・町内会、民生委員児童委員等の避難支援者となる方々に配付を行い、災害時における支援のほか、日頃からの顔の見える関係づくりに活用いただく。</li> <li>・避難行動要支援者台帳に掲載してある個別避難計画の見直しについて、関係各課で検討を重ねて作成した様式を使用し、職員による下内間木地区の訪問調査を実施した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
避難行動要支援者台帳の更新及び配付	目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
	実績値	年1回	年1回			
進捗状況及び自己評価	<p>予定通り令和4年6月中に更新及び配布を行った。</p> <p><b>A</b>      A 着実に進捗している      B ある程度進捗している      C 進捗が順調でない</p>					

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し後の個別避難計画作成の速度と精度。</li> <li>・台帳を活用した訓練等が実施できていない。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、避難行動要支援者台帳の更新及び配付を計画的に実施するとともに、台帳を活用した訓練の実施等、活用支援について検討を行う。</li> <li>・調査実態を踏まえ様式と調査方法を調整し、自治会・町内会等からの意見を元に、要綱改正を経て様式等を決定する。来年度以降は、新たに決定した様式と調査方法で、浸水想定地区から順次調査を進めていく。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

個別避難計画を作成する際は、自治会・町内会、民生委員児童委員にも周知・協力をしていただきたい。

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	福祉部 危機管理室	課名	障害福祉課 長寿はつらつ課 危機管理室	係名	障害福祉係 高齢者支援係 危機管理係
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	①避難行動要支援者支援制度の推進(再掲)				
事業概要	災害時における避難行動要支援者への支援を円滑に実施するため、関係課が連携し、避難行動要支援者台帳を作成します。また、自治会・町内会、民生委員児童委員、消防団、地域包括支援センター等の避難支援者となる各団体に配付を行い、災害時における支援のほか、日頃からの顔の見える関係づくりに活用します。					

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における避難行動要支援者の支援を円滑に実施するため、福祉部門と連携し、避難行動要支援者台帳を作成し、自治会・町内会、民生委員児童委員等の避難支援者となる方々に配付を行い、災害時における支援のほか、日頃からの顔の見える関係づくりに活用いただく。</li> <li>・避難行動要支援者台帳に掲載してある個別避難計画の見直しについて、関係各課で検討を重ねて作成した様式を使用し、職員による下内間木地区の訪問調査を実施した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
避難行動要支援者台帳の更新及び配付	目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
	実績値	年1回	年1回			
進捗状況及び自己評価	予定通り令和4年6月中に更新及び配布を行った。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し後の個別避難計画作成の速度と精度。</li> <li>・台帳を活用した訓練等が実施できていない。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、避難行動要支援者台帳の更新及び配付を計画的に実施するとともに、台帳を活用した訓練の実施等、活用支援について検討を行う。</li> <li>・調査実態を踏まえ様式と調査方法を調整し、自治会・町内会等からの意見を元に、要綱改正を経て様式等を決定する。来年度以降は、新たに決定した様式と調査方法で、浸水想定地区から順次調査を進めていく。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

個別避難計画を作成する際は、自治会・町内会、民生委員児童委員にも周知・協力をしていただきたい。

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	危機管理室	課名	危機管理室	係名	危機管理係
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	②防災意識の高揚				
	事業概要	防災意識の高揚を図るため、防災に関する情報を市から発信するとともに、自衛隊、消防署及び消防団等の防災関係機関と協力し、子どもから大人まで誰でも参加できる防災イベントを実施します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	自助・共助の役割や災害への備えに役立つ防災知識の習得及び防災意識の高揚を図るため、自衛隊、消防署及び消防団等の防災関係機関と協力し、防災フェアを実施する。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
メール配信サービスへの登録者数	目標値	6,000人	7,000人	8,000人	9,000人	10,000人
	実績値	6,841人	6,504人			
進捗状況及び自己評価	令和4年11月5日(土)にくみまちモールあさかにて、防災フェアを開催した。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	現在の場所でのイベント規模は最大限に近いため、内容を更に充実させる
今後の取り組み方針	自衛隊、消防署及び消防団等の関係機関と協力し、子どもから大人まで楽しく学ぶことができる体験型の防災プログラムを実施する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

防災フェアに、様々な方々が参加してもらいたい
------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・朝霞市地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名	危機管理室	課名	危機管理室	係名	危機管理係
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	③自主防災組織の結成促進				
	事業概要	自主防災組織未結成の自治会に対し、地域防災アドバイザーと協力し、自主防災組織の必要性、活動内容を説明し、結成を促進します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	自主防災組織未結成の自治会に対し、地域防災アドバイザーと協力し、自主防災組織の必要性、活動内容を説明し、結成を促進する。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
自主防災組織数	目標値	48組織	49組織	50組織	51組織	52組織
	実績値	47組織	48組織			
進捗状況及び自己評価	新型コロナウイルスのまん延により、自治会・町内会と接触する機会を創出することが出来なかったが、新たに自主防災組織を結成した自治会があった。					
	B	A 着実に進捗している    B ある程度進捗している    C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	更なる結成促進
今後の取り組み方針	地域防災アドバイザーと協力し、引き続き結成促進を図るとともに、既存の自主防災組織が行う訓練や資機材整備に対する補助金を交付し、自主的な防災活動を支援していく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

自主防災組織数を新たに結成してもらいたい
----------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

令和4年度

第4期朝霞市地域福祉活動計画

進行管理・評価シート(案)

委員会会議資料(抜粋版)

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会



令和4年度事業の重点的評価施策

				事業数	
基本理念	基本目標	施策の方向性	重点施策	市	社協
支え合いの心を育み、誰もが地域でつながるまち	市民の暮らしを支える仕組みづくり	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり	○	5	3
		(2)相談支援体制の充実	○	9	4
		(3)保健医療・社会福祉サービスの充実		8	3
		(4)権利擁護の推進		4	3
		(5)生活困窮者等への支援の充実		4	2
		(6)地域住民の交流の促進		6	3
	思いやりと支え合いの心づくり	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進	○	6	6
		(8)支え合い・助け合いの気持ちの醸成		3	2
		(9)地域での見守りの充実		4	1
		(10)情報共有・発信の充実	○	5	2
		(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成		10	5
	安心で地域暮らしやすい	(12)施設等の整備・充実		2	2
		(13)防災対策の充実	○	3	4
		(14)防犯対策の充実		3	2
		(15)外出・移動の支援		4	2
		(16)住まいの確保等への支援		3	1
		(17)再犯防止の推進(再犯防止推進計画)		7	—
合計				86	45

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	<small>総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所</small>	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	①関係機関との連携				
	事業の概要	高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係者との会議や情報交換等を通じて連携を深めてきました。今後、さらに「連携・協働の場」としての役割を十分に発揮し、地域住民や地域の様々な関係者・地域団体の参加と協働をもとに、地域の生活課題(ニーズ)について解決できる仕組みをつくっていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協理事会(4)評議員会(3)・地域ケア会議出席(11)・生活支援コーディネーター会議(11)・第2層協議体会議(2)</li> <li>・校長会議・教頭会議(1)・民協会長会(1)・朝霞市地区民生委員児童委員協議会(6)・ファミリーサポートセンター情報交換(2)</li> <li>・あんしんサポートねっと担当者四市ブロック会(1)・特定相談支援事業所連絡会(4)・進路連絡協議会(和光南特別支援学校等)(4)</li> <li>・南西部地域就労支援センター等情報交換会(3)・埼玉県障害者就労支援センター等連絡協議会(2)・手話調整会議(2)</li> <li>・朝霞市障害者プラン推進委員会(4)・精神保健福祉担当者会議(2)・四市内福祉施設医療職ネットワーク会議(3)</li> <li>・子ども・子育て支援事業計画(3)・児童館運営協議会(2)・要保護児童対策協議会(7)・子どもの貧困対策庁内連絡会議(1)</li> <li>・朝霞市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進会議(3)・包括支援センター運営協議会(2)・地域密着型運営委員会(2)</li> <li>・関係機関との会議に出席し、情報交換を行った。</li> <li>・福祉団体・企業との話し合いの場を設け、地域活動への参加や、現状や抱えている課題について意見交換を行った。また、総合的かつ効果的にサービスが提供されるよう、多様な関係者(保健・医療・福祉・教育等)と連携を図った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
各関係機関や各事業に関わる情報交換	目標値	80件	80件	90件	90件	100件
	実績値	82件	86件			
進捗状況及び自己評価	<p>高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係機関との会議や情報交換を通じて、連携を図り、顔の見える関係づくりができた。 直接的な利用者への支援を行う部署では、利用者のニーズの解決に向けて、関係機関との連携・協働を図ることができた。</p>					
	A	<p>A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない</p>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民による地域の福祉活動やボランティア団体との連携や情報共有が停滞している。</li> <li>・様々な地域の生活課題の解決に取り組む中で、慎重に取り扱わなければならない課題(貧困、虐待等)が発生している。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、地域福祉活動団体等との連携や情報共有に努める。</li> <li>・地域住民や地域の生活課題を解決するために、各関係機関との継続的な連携体制を維持する。</li> <li>・社協内部でも部署間の連携・情報共有に努める。</li> <li>・関りをもった生活課題について、個人情報等、その取り扱いについて管理をしっかり行う。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生活課題について考える。</li> <li>・地域にある福祉団体や関係機関等について情報収集する。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	②身近な福祉圏域の検討				
	事業の概要	第3期活動計画では、地域包括支援センターの圏域に合わせ地区活動を行ってきましたが、住民が身近に感じる福祉圏域について見直し・検討していく必要があることを認識しました。地域での福祉活動を、市民や関係団体と共に進めてきた従来のエリア(福祉圏域)を参考にしつつ、市内の他分野の圏域について情報を収集し、地域住民が身近に感じ、参加しやすい新たな福祉圏域を検討・研究していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	第4期計画の策定段階で、社協が指定管理者として運営している6つの児童館を足がかりに、地域の生活課題の把握や解決に取り組むため、朝霞市内を6つのエリア(地区)に再編した。 令和4年度は、地区の実情を把握するために、第3期地域福祉活動計画で作成した地域アセスメントシートの情報を新しい書式に移し替えるとともに、今後の地域アセスメントシートの更新に向けて既存の情報の整理を行った。あわせて、社協が設定した6地区と、行政(高齢者福祉)が推進する生活支援体制整備事業における6圏域を照らし合わせ、福祉圏域の検討を行った。 また、昨年度に引き続き住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)の協力会員・利用会員の地域ごとの登録分布表を作成し、実態を把握した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
身近な福祉圏域の検討	目標値	調査・研究			1回	2回
	実績値	2回	3回			
進捗状況及び自己評価	・第3期地域福祉活動計画(5地区)で作成した地域アセスメントシートの情報を、第4期活動計画(6地区)の新しい様式に移行した。 ・社協が設定した6地区と、行政(高齢者福祉)が推進する生活支援体制整備事業における6圏域を照らし合わせ、福祉圏域の検討を行った。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民の生活に即した福祉圏域を検討・研究するための情報収集や調査が停滞している。 ・社協が設定した6地区(児童館ごと)と、行政(高齢者福祉)が推進する生活支援体制整備事業の6圏域(地域包括支援センターごと)のエリアの境界線が異なっている。
今後の取り組み方針	地区ごとのアセスメントシートについて、地域福祉活動の実情等の情報の更新を行ったり、行政が推進する生活支援体制整備事業(協議体等)に関する情報収集を通して、地域住民にとって身近な福祉圏域の研究を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域の生活課題や地域福祉活動等の情報を社協に提供する。
-----------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	③コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置				
	事業の概要	地域において、ちょっとした困りごとから生活上の課題を抱える個人や世帯等、様々な地域課題が存在し、社協は地域住民と共に課題解決に向けて取り組んでいます。しかし、困りごとがあっても自ら相談できないなど、福祉課題を抱えている人が増えてきています。そのような人たちが地域で孤立しないように、身近な生活課題を見つけ(気づく)、近隣住民や生活支援コーディネーターなどの関係者、関係機関等との連絡調整をしながら(つなぐ)、地域で支え合う仕組みを一緒に考え(つくる)、地域の多様な生活課題の解決に向けて取り組んでいけるようCSWの配置に向けて検討していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)での活動者、利用者の地域分布など支援事例に関する情報を集約し、地域の状況把握を行った。また、日々の業務で関わる支援ケースを集約し、地域課題に関する情報の蓄積を行った。</li> <li>・研修において他市社協のCSWの配置状況や活動状況について情報交換を行った。</li> <li>・地域ケア会議や生活支援コーディネーター会議等に出席し、情報交換を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
CSWの検討	目標値	調査・検討				設置
	実績値	2回	3回			
進捗状況及び自己評価	住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)やボランティアセンター等のソーシャルワーク的機能を有している事業において、課題解決に向けてコーディネートした事例(支援ケースや地域の生活課題等)の積み上げを行った。 市内の地域の生活課題の解決に取り組んでいる関係機関との情報交換等を行った。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSWを担う人材の育成が必要である。</li> <li>・本会におけるCSWの役割や配置イメージが固まっていない。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSWの業務や地域において個別支援を担う専門職としての役割、位置づけを明確化し、配置に向けて検討を行う。</li> <li>・CSW関連の研修に参加し、他市の状況等について調査する。</li> <li>・地域の生活課題等の情報収集に努め、市内の地域の生活課題の解決に取り組んでいる関係機関との情報交換等に努める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の困りごと気づき、その情報を共有する。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	①特別な配慮が必要な子どもへの相談・支援				
	事業の概要	社協が運営する児童を対象とした施設において、児童がいつもと違う様子であれば専門機関へ相談するなど、他機関と連携を図っています。一人で悩まないように相談ができる場があることを広く周知し、多様な相談に対応できるように関係機関との連携をさらに深めていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館にて、不登校児の見守り支援を行った。(1)</li> <li>・児童館にて、不登校児の見守り支援の際、保護者・学校等と連絡調整を行った。また、家庭児童相談員の来館の調整を行った。</li> <li>・放課後児童クラブにて、児童の相談支援を行った。(11)</li> <li>・放課後児童クラブにて、関係機関の会議や専門機関への情報提供等を行った。(34)</li> <li>・県指定のアドバイザーに配慮を必要とする児童について相談し、アドバイスを受けた。(2)</li> <li>・「ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修会」等の研修に参加した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談支援件数	目標値	45件	45件	45件	50件	50件
	実績値	43件	48件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協が運営する児童を対象とした施設にて、障害児の他に気になる児童や家庭環境等が複雑な児童に対して、保護者・学校・行政等と連携を図りながら、相談支援を行った。また、専門機関等との連携に努めた。</li> <li>・児童に関する研修に参加することで、職員の支援技術の向上に努めた。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	専門的な支援、また児童の権利擁護への配慮等が必要なケースもあり、施設だけでは解決できない場合がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が安全・安心に暮らせるよう、日頃から保護者・学校・行政との連携を図る。専門的な支援が必要な場合は関係機関につなげていく。</li> <li>・相談支援や権利擁護等の研修により、職員の支援技術の向上に努める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

困りごとがあれば利用している施設や市・社協に設置されている窓口相談する。
--------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	②身近な総合相談支援の充実				
	事業の概要	平成29(2017)年度から総合相談の窓口を設置し、住民の困りごとを幅広く受ける体制を整えました。日常生活の中で住民が感じる不安や困りごとに対し、誰もが気軽に利用できる総合相談窓口を目標に、様々なニーズに応えるため児童・高齢・障害等の各専門機関と連携し、総合相談の充実を図ります。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンストップで対応できる相談窓口として、福祉に関するあらゆる相談(高齢者関係、障害者関係、就労、生活困窮、権利擁護等)に対応し、困りごとに耳を傾け、見立てをたて、専門的な支援(市役所、包括支援センター、女性センター等)につなげた。また、生活困窮者に対し、食材支援を行った。</li> <li>・広報紙「社協あさか」やSNSで、総合相談窓口の周知を図った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
総合相談件数	目標値	20件	20件	25件	25件	30件
	実績値	30件	26件			
進捗状況及び自己評価	それぞれの困りごとに耳を傾け、適切な支援につなぐことができた。また、広報紙「社協あさか」やSNS等で総合相談窓口の周知に努めた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	市民や関係機関に、社協の総合相談窓口の存在をより広く周知する必要がある。
今後の取り組み方針	広報紙「社協あさか」やSNS、ホームページ等を活用して、総合相談窓口の周知・啓発を行うとともに、相談しやすい環境づくりを行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に困りごとを抱えている人がいたら、社協の総合相談窓口を紹介する。
------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	③ボランティア活動の相談・コーディネート				
	事業の概要	ボランティアコーディネーターは、市内の福祉施設や活動団体、関係団体等のボランティアに関する情報を集約し、ボランティアをやりたい人とボランティアに来てほしい人をコーディネートします。また、ボランティア募集やボランティア団体の活動状況等をボランティアニュース・広報紙「社協あさか」・SNS等で発信し、ボランティア情報を必要としている人へ届けるとともに、ボランティアに参加する人が増えるように努めます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動をしたいという市民やボランティアに来てほしいという施設等からの相談を受け、必要な情報提供やコーディネートを行った。(延べ116件)</li> <li>・誰もが気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのための事業(彩の国ボランティア体験プログラム)の活動調整を行った。</li> <li>・食材支援等をきっかけに、関わりのできた施設・団体等とつながりを継続できるよう、ボランティアの情報を聞いたり、ボランティア活動希望者に情報提供を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア相談件数	目標値	80件	80件	90件	90件	100件
	実績値	106件	116件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録をした市民に、ボランティアニュースの送付や、ボランティア情報のメール配信を行い、継続的に関わることができた。</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラムの実施にあたっては、参加者にも感染症対策として体調管理を行ってもらった。また、プログラムをきっかけにボランティア活動を継続する参加者がおり、活動のきっかけ作りにつながった。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティアの受け入れを再開できない施設がある。</li> <li>・コロナ禍が長引き、ボランティア活動をやめる方もいた。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ボランティア登録者等とつながりをたやさないよう、情報発信を行う。</li> <li>・関わりのできた施設・団体等とつながりを継続していく。</li> <li>・今後、ボランティア活動を再開する団体等もあると予想されることから、活動状況を把握し、コーディネートに役立てる。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動に興味があったら、ボランティアセンターに連絡をする。</li> <li>・ボランティアを必要としている人や団体はボランティアセンターに相談する。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	④身近なボランティアの相談窓口の充実				
	事業の概要	ボランティアセンターは、「地域に開かれた社協のフロント(窓口)」としての機能を有するため、ボランティアに関する相談や情報掲示ができるスペースを確保し、ボランティアセンター窓口の機能充実を図ります。また、ボランティアセンターまで来所することが難しい人へ向けて、市内の公共施設、スーパーやドラッグストア等に出張ボランティアセンターの開設を働きかけ、ボランティア相談スペースの確保を図ることで相談窓口の拡充を検討していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催の「朝霞市イベントボランティア説明会」にて、ボランティア保険等の説明を行った。(1)</li> <li>・市民活動支援ステーションとの連携により、ステーションにてボランティア保険の受付出張窓口を開設した。(5)</li> <li>・市主催の「地域デビューセミナー」にて朝霞市ボランティアセンターの相談ブースを設けた。(1)</li> <li>・団体利用室を利用する団体が増えるよう、ボランティアニュースで周知を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出張ボランティア相談実施回数	目標値	2件	2件	2件	3件	3件
	実績値	6件	7件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催のイベント等に参加し、ボランティア相談を受けたり、ボランティアセンターの周知を行うことができた。</li> <li>・「朝霞市総合福祉センターまで来所することが困難である。」というボランティアの声をうけ、市民活動支援ステーションと連携し、場所を借りてボランティア保険受付の出張窓口を開設したところ、「今後もぜひ継続してほしい。」との意見があった。</li> <li>・ボランティアの協力により、案内板作成し、ボランティアセンター窓口の周知を図った。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンターまで来所が困難な人もいる。</li> <li>・団体利用室を利用するボランティア団体が増えていない。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張ボランティアセンターとして、市の公共施設等でボランティア保険の受付や、ボランティア相談を行えるかどうかの検討を行う。</li> <li>・団体が利用しやすいよう、団体利用室の整備及び周知を行う。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

市民が利用しやすいボランティア相談窓口の場所について情報提供する。
-----------------------------------

--



## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	①ボランティア・実習生の受け入れ				
	事業の概要	誰もが暮らしやすい地域づくりには、世代を問わず福祉への関心と参加が必要なことから、地域福祉の担い手の育成及び活動支援のため、ボランティアや実習生の受け入れを行います。また、児童館等においては、子どもボランティア事業を実施し、福祉やボランティアに関わるきっかけ作りに取り組んでいきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協が運営する施設で、ボランティアの受け入れを行った。(老人福祉センター1件、児童館172件、放課後児童クラブ91件、ボランティアセンター66件、彩の国ボランティア体験プログラム5件、合計335件)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの受け入れを自粛した施設もあった。</li> <li>・社協の運営する施設で、実習生の受け入れを行った。(社会福祉士実習6件、保育実習13件、教員免許実習4件、手話通訳実習2件、合計25件)</li> <li>・社会福祉士実習の受け入れでは、各部署の実習指導者間で実習方法の検討や振り返りを行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア・実習生受け入れ人数	目標値	ボランティア 300件 実習生 20件	ボランティア 300件 実習生 20件	ボランティア 330件 実習生 25件	ボランティア 330件 実習生 25件	ボランティア 330件 実習生 25件
	実績値	ボランティア 316件 実習生 20件	ボランティア 335件 実習生 25件	ボランティア 実習生	ボランティア 実習生	ボランティア 実習生
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや実習生を受け入れる際には、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、活動内容を工夫する等、安心安全な受け入れに努めた。</li> <li>・ボランティアの受け入れを自粛した際、定期的な活動をしているボランティアに施設通信を送付する等、つながりが切れないように工夫した。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントや事業が縮小等しているため、参加者の活動の機会に制限が出てしまっている。</li> <li>・実習生やボランティアの受け入れについて、社協全体で福祉の担い手を育てるという意識を持つ必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや事業がコロナ禍以前のように再開されることを見据えて、ボランティアや実習生の受け入れの環境整備に努める。</li> <li>・地域福祉への理解と関心が深められるような受け入れ方法について検討する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

福祉施設、ボランティア団体等のボランティア活動に参加する。
-------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	②出前講座の実施				
	事業の概要	社協では出前講座の実施とともに、新たな講座の検討やメニューの見直しを図ってきました。今後は、さらに地域の様々な団体、企業等に対し、身近な地域でいつでも福祉の活動を「知る」「体験する」ことができるような講座の実施、メニューの充実積極的な情報発信を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な福祉情報を交えた講座を社協職員等が講師となり、出前講座として実施した。(「車いす体験教室」「児童館見学」「コロナ禍における作業所の現状について」「気功講座」「切り絵講座」「栄養・脳トレ講座」「熱中症対策講座」「介護予防講座」等)</li> <li>・企業等へ出前講座情報含むチラシを配布したり、「朝霞社協まるわかり帳」を配り、出前講座について周知・啓発を行った。(5)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
団体・企業等への働きかけ	目標値	3件	3件	3件	6件	6件
	実績値	6件	5件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等への会員会費募集や卓上募金のお礼状送付の際に「企業×福祉」チラシ(出前講座情報含む)を同封し、出前講座のPRを実施した。</li> <li>・「朝霞社協まるわかり帳」やホームページを使用して、出前講座のPRを行った。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	申請する団体が固定化してきており、地域の様々な団体・企業への働きかけが必要である。
今後の取り組み方針	地域での行事やイベント、地域福祉団体の定例会等でのチラシや冊子の配布に加え、SNS等も使用して、社協の取り組みとともに出前講座の周知啓発に努める。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

協働事項	社協の出前講座に参加し、得た知識や経験を地域に伝えていく。
------	-------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

推進委員会の意見(評価)	
--------------	--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	③ボランティア講座の開催				
	事業の概要	講座内容の充実を図るため、地域に出向きサロン活動者やボランティア等から、現在のボランティアニーズの聞き取りを行っています。引き続き、ボランティアニュースや社協ホームページ、ツイッター等のSNSを用いて講座情報を広く発信していきます。また、地域福祉の担い手となる人材の育成を目的とした講座等、参加する側が選択できる様々な目的別の講座を開催し、受講後も地域福祉を進める担い手となるよう継続的に参加者の支援を行っています。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア講座(1)</li> <li>・あいはあと事業新規協力会員向け講習会(3)</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラム説明会(2)</li> <li>・ボランティア講座～ふくしをみんなde学び隊～(1)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア講座の開催回数	目標値	7回	8回	8回	9回	10回
	実績値	17回	7回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいはあと事業新規協力会員向け説明会を実施することで、地域で活動する新たな協力者を増やすことができた。また、講習会の日程に都合がつかない方に対しては、個別に説明を行った。</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラムの説明会では事業の説明の他、ボランティア活動とは何かについて学ぶ機会を提供した。</li> <li>・ボランティア講座では、社会参加や地域活動への参加意欲の向上を図るきっかけとして、学びの機会、そしてボランティア活動のきっかけづくりとなるような講座として実施した。様々な年代の方の参加があった。</li> </ul>					
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、地域での活動を休止や縮小をしている団体があり、ニーズの聞き取りが難しい。</li> <li>・地域福祉の担い手となる人材の育成を目的とした講座の企画や今後の展開方法を検討する必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度とは異なる地域で、ボランティア活動を始めるきっかけとなるような講座を開催し、地域の担い手の育成に努める。</li> <li>・講座出席者で希望した方には情報を送付するなど、継続的につながり、ボランティアのモチベーション維持に努める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

講座に参加して得た知識や経験を活かし、地域で活動をする。
------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	④手話体験・要約筆記体験の実施				
	事業の概要	聴覚障害者に対する理解を深め、手話や要約筆記の普及を図ることを目的に、初歩的な手話や要約筆記を学ぶ場としての体験会を実施します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話体験の実施(1)</li> <li>・パソコン要約筆記体験の実施(1)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
手話体験・要約筆記体験会開催回数	目標値	2回	2回	3回	3回	3回
	実績値	2回	2回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生以上の年齢層を募集することで、幅広い世代への手話の普及につながった。(手話体験)</li> <li>・手話講習会や手話体験等、従来の手話関連事業と関わりのない方の申し込みが増えた。(要約筆記体験)</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話講習会につなげるため、実施回数の検討が必要である。</li> <li>・要約筆記に関心は持ってもらえたが、県主催講習会への参加に結びついていない。</li> </ul>
今後の取り組み方針	引き続き、感染症対策を講じながら、実施回数を検討する等、継続的に事業を実施する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

事業に参加し、手話や要約筆記への理解を深める。
-------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	⑤地域福祉財源の確保				
	事業の概要	共同募金、寄付、社協会費等が有効に地域の福祉活動に活用されるよう、地域住民、企業、社会福祉法人等の参加度を高め、また、その資金に協力する人、助成を受けて活動する人、誰もが地域福祉の支え手として参画できるよう、分かりやすい周知の在り方を検討し、透明性の高い運動を展開します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募金実績額:赤い羽根共同募金(6,562,683円)、地域歳末助け合い募金(4,261,731円)</li> <li>・自治会・町内会を通して市民に対して募金への協力依頼を行った。</li> <li>・ほんちよう児童館と連携し、学生ボランティア7名と街頭募金を行った。学生に共同募金について説明したことで、より理解を深めてもらい、思いやりの心を育む活動ができた。</li> <li>・一般介護予防事業参加者、老人クラブ連合会等に、プリペイドカード等の募金協力を依頼した。</li> <li>・広報紙「社協あさか」に募金の使い道を掲載したり、市の広報紙・SNS・メール配信等にて募金運動実施について周知した。</li> <li>・「るくるん募金箱」を市内2カ所の店舗に新規で設置した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
共同募金(赤い羽根・歳末)の募金実績額	目標値	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円
	実績値	10,742,898円	10,824,414円			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協の広報紙やSNSだけでなく、市の広報紙やSNSにも共同募金の記事を掲載してもらい、より多くの市民に周知・啓発ができた。</li> <li>・街頭募金では感染症対策を徹底した上で工夫しながら実施することができた。また、児童館の学生ボランティアと一緒に街頭募金を行い、幅広い世代にPRすることができた。</li> <li>・卓上募金箱の設置場所を新たに2カ所追加することができた。</li> <li>・るくるん募金箱の設置場所を増やすことができ、社協のPRにもつながった。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、戸別募金額が減少している。今後も減少が見込まれることから、新たな募金協力依頼先の開拓が必要である。</li> <li>・多くの市民に寄付金や募金活動について知ってもらい、一緒に活動してもらえよう周知啓発を図る必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	多くの市民に寄付金や募金活動を知ってもらえよう募金の使い道等について周知・啓発を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<p>社協の募金活動は身近な地域の福祉に役立つことを知り、活動に参加する。</p>
-------------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	⑥住民参加型在宅福祉サービス「あいはあと事業」				
	事業の概要	これまで住民参加型在宅福祉サービスとして、「ふれあいサービス事業」と「ホームクリーニング事業」を実施してきましたが、この2つを統合し、新たに「あいはあと事業」を開始します。この事業は地域の支え合いの仕組みをつくることを目的としており、日常生活の中で「ちょっと人の手を借りたい」、「空いているときに人のお手伝いをしたい」、そんな想いをつなげる地域の支え合い活動を展開していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に困っている人がいる場合は、あいはあと事業のパンフレットや紹介をしてほしいと利用会員、協会員に伝え、情報発信を依頼した。</li> <li>・住民の紹介による利用件数(121件うち17件)</li> <li>・広報紙「社協あさか」やツイッター等で、あいはあと事業の概要記事を掲載し、周知啓発を行った。</li> <li>・あいはあと事業のパンフレットを配布した。(利用会員、新規協会員向け講習会受講者、民生委員、ボランティア活動団体、市役所職員、ボランティア講座受講者、サロン食会団体、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、第2層協議体等)</li> <li>・あいはあと事業利用者(高齢者)宅訪問時は、担当ケアマネージャーに同行依頼し、関係機関との顔の見える関係づくりを行った。</li> <li>・協会員ミーティングにて活動紹介を行い、地域の支え合い活動であることを共有し、協会員の活動意欲の維持・向上を図った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住民の紹介による利用件数	目標値	10件	10件	10件	15件	15件
	実績値	14件	17件			
進捗状況及び自己評価	様々な手段を使って、周知啓発に努め、121件の地域住民の支え合い活動が実施できた。うち、住民の紹介による件数を見ると17件だった。					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域の支え合い活動であるあいはあと事業の周知・啓発のため、広報紙・SNSだけでなく、市民が気軽に情報を手に入れられる場所・手段について検討が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用会員・協会員に事業の地域の支え合い活動という趣旨説明をしっかりと伝えていく。</li> <li>・引き続き、広報紙やSNSにて事業の周知を行いながら、新しい手法も検討していく。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

社協で得た情報、知識を地域に伝えていく。
----------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	①分かりやすい福祉情報の提供				
	事業の概要	広報紙「社協あさか」、ホームページ等を用いて多くの福祉情報を提供していますが、今後は、誰もが必要な時に、必要な情報を得ることができるよう、従来の広報手段に加え、YouTube、ホームページ及びSNS等を活用し、分かりやすい地域の福祉情報の提供に努めます。また、各種イベント等の顔の見える環境において、社協のサービスや福祉情報の周知を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞社協全体で、ホームページ、ツイッター(1,338回)、フェイスブック(1,206回)、YouTube(124回)を使用した情報発信を行った。(令和5年2月現在)</li> <li>・広報紙「社協あさか」(4月号、7月号、10月号、1月号)、ボランティアニュース(7月号、2月号、3月号)、手話ニュース(春・夏・秋・冬)を発行した。また、広報あさかに記事掲載を依頼した。(21)</li> <li>・福祉の情報をSNSに投稿し、広く情報提供を行うとともに、サロンや福祉団体を訪問する際は広報紙やチラシなどを持参し、直接情報を届けた。</li> <li>・コミュニティFMラジオ(775ライブラリーFM)に職員が出演し、講座の広報を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉の情報提供	目標値	SNS 200回 紙媒体 20回	SNS 210回 紙媒体 20回	SNS 230回 紙媒体 23回	SNS 240回 紙媒体 23回	SNS 250回 紙媒体 25回
	実績値	SNS 140回 紙媒体 18回	SNS 242回 紙媒体 21回	SNS 紙媒体	SNS 紙媒体	SNS 紙媒体
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協ホームページ・ツイッター・フェイスブック・ユーチューブや広報紙などを活用し、多くの福祉の情報を提供することができた。</li> <li>・社協主催の講座や地域の活動団体等の活動場所や主催イベント等で、広報紙等を配布し、広く情報を提供することができた。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の活動団体が休止したり、講座等が縮小したため、顔の見える環境での福祉情報の周知を増やすことができていない。
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症への対策を講じたうえで、直接市民に福祉情報を周知する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

「社協あさか」を読み、福祉サービスの情報を得る。
--------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	②メディア戦略の強化				
	事業の概要	複雑化・多様化する情報社会に対応するため、広報紙「社協あさか」等の既存の媒体に加え、SNSや新しいツールを弾力的に活用して、正確で鮮度の良い社協の情報や地域の情報の提供を目指し、メディア戦略の強化を図っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙設置先の拡大として、商業施設等にお願いの声掛けを行った。</li> <li>・募金活動の説明の動画を作成し、YouTubeにて限定公開した。</li> <li>・コミュニティFMラジオ(775ライブラリーFM)に職員が出演し、講座の広報を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
広報紙等の設置先の拡大	目標値	2件	2件	2件	2件	2件
	実績値	5件	0件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協と関連のある商業施設等に、広報紙の設置のお願いの声掛けをしたが設置には至らなかった。</li> <li>・募金説明会に出席できない自治会・町内会に向けて、募金活動の説明の動画を作成し、YouTubeにて限定公開し、情報の提供に努めた。</li> <li>・FMラジオと連携し、社協の情報を発信することができた。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	広報紙の設置先の拡大に向けて声掛けをしているが、実際の設置にまでは至っていない。
今後の取り組み方針	引き続き、広報紙の設置先の拡大に向けて声掛けを行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

福祉サービスの情報を得るための「社協あさか」の設置場所を紹介する。
-----------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--



## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	①災害ボランティア講座の実施				
	事業の概要	災害は全て想定内で起こるとは限りません。想定外のことも踏まえ普段から地域のつながりや防災意識を高めるため、これまで災害ボランティア講座を開催してきました。今後さらに地域住民同士が支え合う意識の醸成を図るため、地域住民や社協職員を対象とした講座を開催します。また、災害ボランティアとして活動できる人材を増やしています。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度、延期となった市民向けの災害ボランティア講座を開催した。(1)</li> <li>・埼玉県社会福祉協議会主催の「災害対応力強化研修」に社協職員が出席した。</li> <li>・県内社協連絡会主催の災害ボランティアセンターに関する研修に出席した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
災害ボランティア講座	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	0回	1回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度、延期となった市民向けの災害ボランティア講座を開催した。朝霞市危機管理室に講師を依頼し、連携を図った。また、防災や災害ボランティアに関する地域住民の意識の醸成を図るきっかけとなった。</li> <li>・平時からのつながりとして、昨年協定を締結した第一生命保険株式会社浦和支社に災害ボランティア講座の案内を送付し、社員の参加があった。</li> <li>・埼玉県社会福祉協議会等が主催した災害ボランティアセンターに関する研修に社協職員が出席し、知識を深めることができた。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア講座に参加した人と、平時からつながることができるような取り組みについて検討が必要である。</li> <li>・最新の災害ボランティアセンターについての情報収集を行う必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平時からつながりを持てるよう、災害ボランティア講座に参加しボランティア登録をした人に対し、情報発信等を行う。</li> <li>・埼玉県社会福祉協議会等が行う研修に、社協職員は積極的に参加する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

災害ボランティア講座で得た知識を家族や周りの地域住民に伝える。
---------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	②災害ボランティアセンター設置訓練の実施				
	事業の概要	災害ボランティアセンターは、社協職員だけでは運営が難しいとされています。そのため、災害発生時、社協が災害ボランティアセンターを設置・運営していくためには、継続的な訓練が必要です。社協職員に限らず、行政や地域住民にも参加を呼びかけ、横のつながりを確認しながら訓練に取り組んでいきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置時に使用する資機材の充実及び点検を行った。(1)</li> <li>・災害ボランティアセンター担当部署において、災害用伝言ダイヤル171を使用した安否確認訓練を実施した。</li> <li>・県社協等が主催する災害ボランティアに関する研修について、社協全部署に周知し、参加者を募った。</li> </ul>					
指標名	名	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
災害ボランティアセンター設置訓練	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	1回			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置時に使用する資機材の充実及び点検を行った。</li> <li>・災害時に迅速な対応を行うために、災害ボランティアセンター担当部署において、災害用伝言ダイヤル171を使用した職員の安否確認訓練を実施した。</li> <li>・埼玉県社会福祉協議会等が主催した災害ボランティアセンターに関する研修に社協職員が出席し、知識を深めることができた。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市(危機管理室等)との情報共有・連携を深める必要がある。</li> <li>・災害ボランティアセンターの運営については、担当部署だけではなく、社協内全部署から職員を集め、チームとして検討していく体制を整えていく必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて見直しを図り、市と情報交換等を行う。</li> <li>・引き続き、職員の意識の向上を図るため、災害ボランティアに関する研修等の情報を、全部署に配信し参加を促す。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

災害ボランティアについて関心を持ち、社協が開催する講座等に参加する。
------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとび福祉作業所	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	③防災訓練の実施				
	事業の概要	社協が管理運営する施設において、火災や自然災害を想定した防災訓練を実施し、平時から災害に備えるとともに、施設利用者や地域住民に対して防災意識の啓発に努めます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者と職員等含めて、火災・地震・水害等を想定した避難訓練を実施した。また消防設備機器等の操作訓練(消火や通報等)を行った。</li> <li>利用者・保護者宛てに、火事・地震等の発生時の初期対応について、啓発のチラシを配布した施設もあった。</li> <li>地震発生時の初動行動の訓練(シェイクアウト訓練)を行ったり、保護者等に対し災害伝言ダイヤルの体験を企画したり、水害時の避難場所が民間施設等になっている施設においては徒歩での避難訓練を行ったり、複合施設では合同の避難訓練を実施したり、土日勤務者向けの消防設備説明会を開催する等、それぞれの施設で訓練を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
防災訓練の実施施設数	目標値	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所
	実績値	21か所	21か所			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令に定める訓練(避難・消防等)を実施することができた。</li> <li>施設ごとに、その立地、利用特性に応じた訓練を行い、職員・利用者等に防災意識の啓発ができた。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、通常よりも参加者を減らしたり、内容を変更して実施せざるをえない施設があった。
今後の取り組み方針	法令に定める消防訓練・避難訓練を行い、平時から災害に備えるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、利用者だけでなく地域住民にも声かけして参加してもらえる訓練を企画する等、防災意識の向上に努める。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

日頃から防災への開催を持ち、施設等が行う防災訓練に参加する。
--------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	④小地域福祉活動における防災事業の相談支援				
	事業の概要	自治会・町内会やボランティア団体が行う防災関連事業に対し、災害発生時の初期対応や身の回りにあるもので作れる防災グッズ等の情報提供を行ってきました。今後は、災害時の様々な場面で役立つ情報や災害関連の講座案内等、地域住民の支え合いによる防災活動について社協から情報発信を行いつつ相談支援を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R4年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、町内会における防災事業についての企画の相談があった。(1)</li> <li>・市民向けに災害ボランティア講座を開催した。(1)</li> <li>・市主催の小学校区避難所開設訓練(市内10校)に社協職員が参加した。</li> <li>・小学校区避難所開設訓練において紹介のあった「VACAN」をTwitterで周知した。(1)</li> <li>・朝霞市危機管理室より依頼があり、朝霞市防災フェアにて、災害時に役立つ紙食器の工作を行うブースを設けた。(1)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
防災関連情報の周知・啓発・相談支援	目標値	3件	3件	3件	6件	6件
	実績値	3件	4件			
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア講座の開催に向けて、周知活動の行い、市民への啓発、講師(行政)との連携づくりができた。</li> <li>・市主催の小学校区避難所開設訓練に社協職員が参加し、紹介のあった「VACAN」(避難所の混雑状況が可視化されるアプリ)をTwitterにて周知した。</li> <li>・朝霞市の防災フェアでは、災害時に役立つ紙食器の工作を行い、地域住民に向けて災害に対する意識の醸成を図ることができた。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会・町内会や地域活動団体等の防災に関するイベントや講座が中止となり、周知啓発の機会が減ってしまった。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・町内会や小学校区等の団体が実施を予定している防災に関するイベントや講座等の情報収集を行う。</li> <li>・市が主催する防災に関するイベントに継続的に参加する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

日頃から防災に関心を持ち、地域で実施する防災訓練等に参加する。
---------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--